



本年度スポーツ文化活動で活躍した人たちを表彰

第二十五回教育振興大会が村自然休養村管理センターで行われました。教育関係者や父母ら約百七十人が出席し、生涯学習の取り組みや、家庭、地域の教育力の向上、教育環境の整備充実に向け取り組むことを誓い合っていました。

大会は、県教育委員会（合田武教育長）、久慈地方教育委員会協議会（小澤浩教育事務所長、村生涯学習推進会議（議長・深渡宏村長）、村教育振興運動推進委員会（下道裕一委員長）などが主催。

中村進・久慈教育事務所長のあいさつに続いて村生涯学習推進会議議長の深渡村長が「個性を大切に学ぶことの楽しさを理解し生きがいのある人生を送つていただきたい」とあいさつ。下道委員長は「家庭、学校、地域が連携し教育の在り方をみんなで探りましょう」とあいさつしました。

引き続き実践発表が行われ、「風をおこして十五年」とコーラス・ライオット風代表の森田真奈子さん（中央区）が田野畑村・野田

生涯学習の推進と教育力の向上願い

教育振興大会で誓い合う

生涯学習の推進と、家庭・地域の教育力の向上を願い、二月三日、久慈地区教育振興運動推進大会、第十回生涯学習大会、第二十五回教育振興大会が村自然休養村管理センターで行われました。教育関係者や父母ら約百七十人が出席し、生涯学習の取り組みや、家庭、地域の教育力の向上、教育環境の整備充実に向け取り組むことを誓い合っていました。

大会は、県教育委員会（合田武教育長）、久慈地方教育委員会協議会（小澤浩教育事務所長、

村生涯学習推進会議（議長・深渡宏村長）、村教育振興運動推進委員会（下道裕一委員長）などが主催。

NHK盛岡放送局放送部の金井直己副部長が「心くばりの話しことば」と題して講演。新人アナウンサー指導者の立場から、しかり方を例に上げ、しかるタイミングの難しさや必要性について「しかり方が下手な人は、しからないで聞いたらどう

か」を実感する実践区が発表。読書の大会を実感する実践やチヨウセニアカシジミ保護活動、アルミニウム缶を集めて老人ホームに車いすを贈る取り組みなど、それぞれの地区的特徴を生かし、家庭・学校・地域が一体となつて頑張ってきた一年間の活動が堂々と紹介されました。

「豊かな心を養う」ことを大切さを実感する実践やチヨウセニアカシジミ保護活動、アルミニウム缶を集め、老人ホームに車いすを贈る取り組みなど、それぞれの地区的特徴を生かし、家庭・学校・地域が一体となつて頑張ってきた一年間の活動が堂々と紹介されました。



活動成果を披露する発表者たち

◆功績・功劳
「個人」 ▲学校教育（学校保健） 藤原秀世（村国保歯科診療所長） □学校歯科医として児童生徒の保健衛生の向上に尽力された功績 ▲社会教育（婦人教育） 宇部満寿子（村婦人協連会長） □婦人団体活動や婦人教育に尽力された功績 □団体） ▲社会体育（優秀団体） 普代村アームレスリング協会（アームレスリングチーム） □第三回岩手県アームレスリング選手権大会二階級で優勝した功績 普代体協（軟式野球チーム） □高松宮賜杯第四十五回全国日本軟式野球大会一部県予選準優勝の功績

◆感謝状
「個人」 ▲芸術文化（文化財の伝承） 畠山健一（鶴鳥神楽保存会員） □永年にわたり普代村指定無形文化財鶴鳥神楽の伝承活動において、児童生徒の健全育成、後継者育成に尽力された功勞

◆感謝状
「団体」 堀内スポーツ少年団（五、六年・金名部貴大主将） □平成十三年度久慈地区スポーツ少年団交流大会優勝。全国スポーツ少年団交流大会下閉伊北部大会優勝 鳥茂渡小学校（PTA会長・沢口邦善） □六

だろう。ステップアップするため、褒め上手になりましょう。そのためには、相手の顔を見て、目を見て」と心くばりの大切さを痛感するお話をいただきました。

大会に先立ち行われた表彰式では、村学校教育などに功績、功労のあった二団体・二個人、東北や県レベルの文化・スポーツ大会で活躍した八団体・十五個人を紹介し表彰しました。

活躍した人、紹介します

◆小学生の部

「個人」 外館ゆきか（普代

小二年） □第三十五回夏休み良書推薦運動読書感想文コンクール岩手県小学校長会会長賞を受賞 赤坂成悟（堀内小六年） □

平成十三年度久慈地区小学校陸上記録会六年走り幅跳び第一位。記録3.49m 松家菜（同二年） □平成十三年度小中学校による「美しく豊かな村づくり」絵画コンクールで銀賞を受賞 金子達哉（黒崎小五年） □平成十三年度歯・口の健康に関する图画・ポスターコンクールならびに歯・口の健康啓発標語コンクール代表賞を受賞。同歯科保健啓発標語コンクールで最優秀賞を受賞